



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 トラスト

上場取引所 東

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 賢司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷中 一晴

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,937	4.5	1,212	4.4	1,178	8.4	335	3.3
2019年3月期第3四半期	15,648	15.4	1,161	26.7	1,086	23.0	324	2.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 732百万円 (17.3%) 2019年3月期第3四半期 624百万円 (5.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	12.95	
2019年3月期第3四半期	12.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	28,610	10,156	24.1	266.36
2019年3月期	29,284	9,562	22.7	256.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,892百万円 2019年3月期 6,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		2.50		1.50	4.00
2020年3月期		2.00			
2020年3月期(予想)				2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	3.7	1,450	0.3	1,350	5.1	500	38.5	19.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	28,150,000 株	2019年3月期	28,150,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,273,100 株	2019年3月期	2,273,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	25,876,900 株	2019年3月期3Q	25,876,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初は緩やかな回復傾向の継続が伝えられておりましたが、米中貿易摩擦の影響による世界経済の減速等を背景に、輸出、生産の減少が継続し、製造業を中心に不透明感が拡大し、特に期間の後半には受注環境の悪化が顕著となりました。

このような状況のなか、当社グループは、海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高14,937百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益1,212百万円(前年同期比4.4%増)、経常利益1,178百万円(前年同期比8.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益335百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、輸出先各国を取り巻く規制等の影響により輸出仕向地の体制に変更が出てきておりますが、業界全体の輸出台数としては国際自動車流通協議会からは通年で前年値に並ぶ130万台の予測がなされております。また、当第3四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は、99万台(前年同期比2.6%減)となりました。

主力販売先であるアフリカ地域の輸出台数は徐々に回復し、また、ヨーロッパ地域においてもB2B取引先との関係構築により輸出台数が増加しました。しかしながら、北中南米地域及びオセアニア地域への輸出台数が減少し、当社グループの輸出台数の合計は3,081台(前年同期比9.5%減)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,343百万円(前年同期比19.9%減)、営業利益69百万円(前年同期比43.7%減)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においては、車輛の所有から利用への流れやインバウンドのレンタカー利用の拡大等を背景にレンタカー需要はますます高まり、事業者数及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、当期において直営店のイオンタウン各務原鶴沼店(岐阜県)、新千歳空港店(北海道)、北九州空港カウンター店(福岡県)、F C店の岩出店(和歌山県)を新規出店し、直営店及びF C店の総店舗数は160店、総保有台数は19,864台(前年同期比9.6%増)となり、新規出店等によるコストの増加もありましたが、売上の増加や台当り粗利益の改善等により、営業利益は前年同期を大幅に上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高8,541百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益1,245百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、景気悪化の不安からデモの動きがあったが徐々に沈静化しているものの未だ失業率が高く予断を許さない状況が続いており、2019年1-12月期の新車販売台数は53.5万台(前年同期比3.1%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でスズキディーラー3店舗、プジョーディーラー3店舗の計6店舗を運営しており新車販売台数は合計901台(前年同期比34.1%増)、中古車販売台数は合計719台(前年同期比17.8%減)となり、前年同期と比べて販売台数は増加したものの営業損失となりました。これを鑑み2019年12月をもってプジョーディーラー3店舗を閉鎖し事業の集中と選択を図りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,183百万円(前年同期比14.1%減)、営業損失97百万円(前年同期営業損失82百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.7%減少し、14,228百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産939百万円が減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、14,382百万円となりました。これは機械装置及び運搬具(純額)が1,150百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、28,610百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.0%減少し、15,674百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が62百万円、リース債務が1,205百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.6%減少し、2,780百万円となりました。これは長期借入金が11百万円、リース債務が379百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、10,156百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、事業の集中と選択及び収益改善を継続的に行い、売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、2019年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,133	512,966
受取手形及び売掛金	1,972,359	2,301,308
リース債権及びリース投資資産	10,434,725	9,494,977
商品及び製品	1,451,889	1,396,709
仕掛品	4,033	1,881
原材料及び貯蔵品	23,953	23,629
その他	919,878	503,524
貸倒引当金	△9,275	△6,907
流動資産合計	15,575,698	14,228,091
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	2,429,654	3,579,924
リース資産（純額）	5,339,782	4,705,697
土地	3,465,921	3,427,457
その他（純額）	1,493,397	1,752,078
有形固定資産合計	12,728,756	13,465,158
無形固定資産		
のれん	74,947	65,782
その他	56,852	48,556
無形固定資産合計	131,799	114,339
投資その他の資産		
その他	881,898	838,454
貸倒引当金	△33,298	△35,415
投資その他の資産合計	848,599	803,038
固定資産合計	13,709,156	14,382,536
資産合計	29,284,854	28,610,627
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	526,811	463,902
短期借入金	1,000,000	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	43,224	21,388
リース債務	13,186,259	11,980,916
未払法人税等	337,964	125,493
賞与引当金	126,376	60,012
その他	1,283,910	1,172,626
流動負債合計	16,504,546	15,674,339
固定負債		
長期借入金	26,985	15,014
リース債務	3,006,153	2,627,067
役員退職慰労引当金	7,663	8,920
資産除去債務	43,508	49,044
その他	133,835	80,145
固定負債合計	3,218,145	2,780,190
負債合計	19,722,692	18,454,530

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	4,779,480	5,024,088
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	6,685,071	6,929,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,403	29,422
為替換算調整勘定	△67,406	△66,564
その他の包括利益累計額合計	△50,002	△37,142
非支配株主持分	2,927,092	3,263,559
純資産合計	9,562,161	10,156,096
負債純資産合計	29,284,854	28,610,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	15,648,423	14,937,089
売上原価	11,624,344	10,742,778
売上総利益	4,024,079	4,194,311
販売費及び一般管理費	2,862,401	2,982,067
営業利益	1,161,677	1,212,243
営業外収益		
受取利息	7,516	10,922
受取配当金	3,400	3,345
為替差益	—	47
受取補償金	8,753	6,333
その他	9,532	10,357
営業外収益合計	29,203	31,006
営業外費用		
支払利息	75,777	63,700
為替差損	26,766	—
その他	1,817	1,279
営業外費用合計	104,362	64,979
経常利益	1,086,518	1,178,269
特別利益		
固定資産売却益	—	10,767
特別利益合計	—	10,767
特別損失		
固定資産除却損	1,506	2,524
固定資産撤去費用	2,495	595
特別損失合計	4,001	3,119
税金等調整前四半期純利益	1,082,517	1,185,917
法人税、住民税及び事業税	398,998	403,771
法人税等調整額	12,906	62,441
法人税等合計	411,905	466,213
四半期純利益	670,611	719,704
非支配株主に帰属する四半期純利益	346,222	384,517
親会社株主に帰属する四半期純利益	324,389	335,186

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	670,611	719,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,518	12,295
為替換算調整勘定	△41,818	841
その他の包括利益合計	△46,337	13,136
四半期包括利益	624,274	732,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,136	348,046
非支配株主に係る四半期包括利益	346,138	384,794

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,400,322	7,705,129	2,542,971	15,648,423	—	15,648,423
セグメント間の 内部売上高又は振替高	25,449	149,953	—	175,403	△175,403	—
計	5,425,772	7,855,083	2,542,971	15,823,827	△175,403	15,648,423
セグメント利益又は損失(△)	124,056	1,119,318	△82,977	1,160,397	1,280	1,161,677

(注) 1 セグメント利益の調整額1,280千円には、のれん償却額△4,992千円、棚卸資産の調整額6,273千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,318,653	8,435,244	2,183,191	14,937,089	—	14,937,089
セグメント間の 内部売上高又は振替高	25,242	106,174	—	131,416	△131,416	—
計	4,343,896	8,541,418	2,183,191	15,068,506	△131,416	14,937,089
セグメント利益又は損失(△)	69,814	1,245,961	△97,902	1,217,873	△5,629	1,212,243

(注) 1 セグメント利益の調整額△5,629千円には、のれん償却額△6,062千円、棚卸資産の調整額432千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。